

宮城を、
あなたの
舞台に



宮城県職員募集
2026

一般事務

業務紹介

◆ 概要

庶務や予算・経理、企画、県税の賦課徴収、
用地交渉等の行政事務

◆ 勤務先

本庁各課

地方機関（県税事務所、地方振興事務所、保健福祉事務所など）

県外の機関（東京事務所など）



自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県気仙沼市
- ◆ 入庁までの経歴 : H29.3 県内高校卒業
H29.4 入庁



入庁後の異動歴（現在入庁10年目）

H29.4～ **気仙沼地方振興事務所 総務部 総務班**

給与や出張費の管理など、組織の基盤を支える内部事務

R2.4～ **仙南保健福祉事務所 地域保健福祉部
生活支援第一班**

生活に困難を抱える世帯の家庭訪問、相談対応、自立支援など

R5.4～ **企業局 公営事業課 予算・出納班**

安全な水道・工業用水・下水道を届けるためのお金の管理など

R8.4～ **企画部 総合政策課 分権・調整班**

「宮城の枠」を越え、他県や市町村と手を取り合うパートナーシップの構築など

志望動機

◆ なぜ公務員？

生まれ育った地域に密着し、特定の誰かではなく、
人々の暮らしを広く、深く支える仕事をしたいと考えたから

◆ なぜ宮城県庁？

一市町村の枠を超え、広域的な視点から『宮城全体の魅力』
を最大化し、次の世代へ繋ぎたいと考えたから

これまでに担当した業務の紹介

【庶務担当】（気仙沼地方振興事務所）

給与や出張費の管理など、組織の基盤を支える内部事務を担当。

【生活保護担当】（仙南保健福祉事務所）

生活に困難を抱える世帯の家庭訪問、相談対応、自立支援に従事。

【経理・決算担当】（企業局公営事業課予算・出納班）

安全な水道・工業用水・下水道を届けるためのお金の管理。

現在の担当業務の紹介

企画部総合政策課分権・調整班（広域連携担当）

「宮城の枠」を越え、他県や市町村と手を取り合うパートナーシップの構築

◆山形県との経済・観光・交通連携

隣接する山形県と共同で観光ルートの開発や、
お互いの強みを活かした地域活性化プロジェクトを推進。

◆東北・新潟が一体となった地方創生

東北各県および新潟県と連携し、人口減少をはじめとする
東北全体の共通課題にワンチームで立ち向かう。



入庁前のイメージとのギャップ°

◆ 入庁前のイメージ

- ・「前例踏襲」が何より優先される、お堅くて冷たい雰囲気？
- ・若手の意見は通りにくく、言われた作業を黙々とこなす日々？

◆ 入庁してみたら・・・

- ・「どうすればもっと良くなるか」を真剣に考え、新しいアイデアを歓迎する文化！
- ・「〇〇さんはどう思う？」と若手にも意見を求め、背中を押してくれる温かい職場！



仕事をする上で心がけていること

◆ 現場の「声」と「想い」に徹底的に耳を傾ける。

制度や机上の空論だけで判断せず、県民のみなさんや市町村職員の方々が、何に困り、何を求めているかを現場で直接感じ取る。

◆ 数字や書類の先にある「人々の暮らし」を想像する。

経理業務や、予算管理の際、扱うデータや書類のすべてが「県民の安心で快適な生活」に直結しているという強い当事者意識を持つ。



印象に残っている業務

◆命のインフラを支える経営管理

【担当した出来事】

・企業局公営事業課にて、県民の安心・安全な水道を支える予算・決算調整を担当。

【直面した課題】

・ただ数字を合わせるだけでなく、限られた予算の不用額や繰越額を最小限に抑え、いかに効率的かつ健全に事業を運営するかという経営的な判断。

【実を結んだ瞬間】

・1円のズレもなく予算・決算を完遂。自分がまとめた決算書が議会で承認され、県民が毎日使う「あたりまえの水道ライフライン」を経済面から支えきった瞬間の達成感。。



仕事のやりがい

◆宮城県職員だからこそ味わえる、一生モノのやりがい

【ダイレクトに伝わる貢献感】

自分が関わった政策やサポートが、目の前の県民や地域の「安心」と「笑顔」に変わる瞬間を実感できる。

【地域の未来をカタチにする喜び】

他県との連携事業や、広域的な地方創生施策など、自分のアイデアが宮城の新しい未来の礎になる。

【誰一人取り残さない社会づくり】

福祉やインフラ整備、企画など、あらゆるアプローチで、宮城に暮らす人々を陰日向から支え続ける誇り。

職場の雰囲気

◆若手を絶対に一人にしない、宮城県庁の頼れるチームワーク

【親身なサポート体制（メンター制度）】

新規採用職員には、年の近い先輩職員が専属で指導にあたり、仕事の基本から悩み相談まで幅広くフォロー。

【お互いを助け合う「ワンチーム」の文化】

「困ったときはお互い様」。繁忙期やトラブルの際も、部署全体でカバーし合う温かい人間関係。

【公私のメリハリと充実した研修制度】

若手研修やキャリア支援が充実。

有給休暇も取得しやすく、プライベートを大切にしながらイキイキと働ける環境。

宮城県職員の魅力

◆私が高校生のみなさんに「宮城県庁」を強く勧める3つの理由

【多様なキャリアを通じた「自己成長」】

福祉、経済、観光、インフラ、企画など、多様な分野を横断。
経験を重ねるごとに、自分の視野とスキルが驚くほど広がっていく。

【宮城全体という「壮大なフィールド」】

仙台の本庁だけでなく、気仙沼、仙南、大崎など、県内各地の歴史や文化、人々の温かさに触れながら仕事ができる。

【誰もが輝けるフィールドでの社会貢献】

宮城県出身者はもちろん、宮城に移り住んだ方や、宮城の未来に共感する方、全員が温かく活躍できる場所。自分が企画し、実行したことが直接この地域を元気にし、人々の笑顔に直結するダイレクトなやりがい。

私の公務員試験対策

【1次・教養試験】「数的処理」の早期攻略 & 授業のフル活用

特有のパズル問題「数的処理」は過去問集1冊で解き方のパターンを体得する。
歴史や理科などは、学校の教科書・普段の授業がそのまま最強の参考書！

【1次・作文試験】制限時間内に「論理的な型」で書く練習

作文対策：制限時間と必要文字数の感覚を掴む。
「私の考え（結論）」→「考えに至った理由」→「まとめ」

【2次・面接試験】「宮城への愛着」と「チーム経験」を言葉に

宮城県を知る：「県政だより」等で興味のあるニュースを3つストックする。
自分を伝える：部活や行事など「仲間と協力して壁を乗り越えた経験」を整理しておく。



先輩職員からのメッセージ

- 宮城には、輝く海、雄大な山々、美味しい食、そして温かい人々がいます。
- これからの未来を創るには、みなさんの「自由な発想」と「若いエネルギー」が欠かせません。
- 宮城の明日を、私たちと一緒に、もっと面白く、豊かにしていきましょう！
- 県庁で、未来の仲間であるみなさんを待っています！